



- 立科小学校／午前9時～午前11時30分
電話 0267-56-3131 (呼)・有線2190 (呼)
- 立科中学校／午後2時～午後5時
電話 0267-56-1076 (呼)・有線2251 (呼)
- 立科町児童館／
午前 11時50分～午後 1時40分
電話 0267-56-0303 (直通)・有線8888 (直通)
(担当 指導主事 中島一彦)

指導主事だより

教育委員会

なんだか うれしい

登校風景



- 中学生のお兄さん、お姉さんの手を握りながら、学校に向かう小学生の姿。小さな影と大きな影の微笑みさ。
- 夢中で本を読みながら歩く中学生。たまらなく面白くなってしまう・・・分かります。でも気をつけて。
- 歩道脇にしゃがんだまま、じっと道端の草むらのをのぞき込むように見つめているかばんを背負った小さな後ろ姿。
- 車道に添った住宅街、その脇から心配そうに行きかう車を見つめる家族の姿。車の流れが止まる瞬間を見計らい、ランドセルを、そっと押し出すように我が子を歩道側に送り出して下さるお母さん。無事に渡り終えた我が子に「いってらっしゃい」と声をかけて下さるお母さんのあたたかな笑顔。振り返りながら笑顔で駆けだす子どもたち。お母さんだけでなく、おじいさんやお父さんの姿もありました。
- 歩道沿いの堤に腰を掛けている女の子。ふーっと息を吐き出すような仕草をしています。「疲れるんだよね。だから少し休むの」そんなことも教えてくれました。
- 役場に向かい、車道を上がっていく時、飛び込んでくるロケーションは子どもたちの顔を浮かび上がらせてくれます。お母さんと手をつなぎ、うれしそうにお話をしながら、学校に向かうM君。そしてにこやかなお母さんの表情もみてとれました。

頭上の電線から聞こえてくる小鳥たちのささやき合うような鳴き声・・・澄んだ綺麗な囀りはカワラヒワの群れからのものでした。

ごく当たり前の日常の中で繰り返される三学期はじめの登校風景。

新しい年の始まり・・・学校に向かう道すがら、学校と自分の家の往復という通学路。子どもたちにとっては、その繰り返しこそが一つの世界なのだと思うのです。一日の始まりに歩み出す我が家から学校への道、我が家へと向かう学校からの帰り道。そこで感じる人や自然。

丘と丘の間に広がる広大な田園風景。季節ごとに香る風や空気。様々に姿を変える近景や遠景。雪をかぶった浅間山、噴煙のように浮かぶ雲・・・

紅色に燃えるような秋の浅間、茶褐色と新緑に浮かび上がる夏の浅間。そして、高台からは北アルプスの白が際立つ冬の季節。

三学期の始まりの今朝、冷気が流れ込むような寒さが身に沁みました。冷たく澄んだ青空をなぞるように白い雲たちが浮かんでいました。その下を、白い息を吐きながら登校する子どもたちたちの活気ある声が聞こえてきます。

中空に上がり始めた太陽は力を増しているような朝陽を届けてくれていました。

どうか充実した日々が

立科の子どもたちに、

もたらせられる新しい一年となりますように